

PI時と需要予測再精査時の比較

PI時と需要予測再精査時の比較

事項		PIレポート			今回		
需要予測	旅客数(年間) 発着回数(年間)	下位	中位	上位	下位	基本	上位
		1,964万人 17.0万回	2,137万人 18.1万回	2,293万人 18.8万回	1,895万人 17.3万回	1,985万人 17.6万回	2,295万人 19.1万回
		(2032年度)			(2030年度)		
増設滑走路諸元	増設滑走路位置、種別、形状	長さ2,500m、幅60m			同左		
空港能力	滑走路処理容量	18.3万回/年					
高さ制限	進入表面	住宅・事業所に抵触し 移設が必要(8件)【注】					
	転移表面						
周辺への影響	空港拡張面積、 面積に含まれる可能性のある物件数	約12ha、約30件【注】					
	騒音対策区域	騒音の影響は、現行の区域内 に収まる結果だが、環境アセス メント時に精査が必要			PIで示した影響範囲より小さくなる ことが想定されるが、環境 アセスメント時に精査が必要		
工事着手後の工事期間		約7年【注】			同左		
概算事業費		約1,800億円【注】					
社会経済的な効率性	費用便益比【注】	下位	中位	上位	下位	基本	上位
		1.5	2.3	3.0	1.4	1.6	2.5
		いずれも、社会経済的にみて 実施する価値がある 事業と考えられる			同左		

【注】今後、さらに詳細に検討していくため、変更となる可能性がある。

滑走路増設案の概要

ターミナル施設ゾーニング図

